

# 製品安全データシート

## 1 製品及び会社情報

製品名：バルククリーナー BK749J

会社名：株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

住所：大阪府八尾市太田新町 9-3

担当部門：総務部

電話番号：072-948-4801

FAX番号：072-949-7092

## 2 危険・有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

金属腐食性物質 区分 1

#### 健康に対する有害性

急性毒性（経口） 区分 4

急性毒性（経皮） 区分 3（？）

急性毒性（吸入：蒸気） 区分 3（？）

皮膚腐食性・刺激性 区分 1 B

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 1

皮膚感作性 区分 1（？）

生殖細胞変異原性 区分 2（？）

特定標的臓器／全身毒性（単回暴露） 区分 1（呼吸器系）

特定標的臓器／全身毒性（反復暴露） 区分 1（骨、歯、下垂体、甲状腺、腎臓、神経系、肝臓、精巣、気管支）（？）

#### 環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分 3

### ラベル要素

#### 絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

金属腐食のおそれ

飲み込むと有害

重篤な皮膚の薬傷・目の損傷

重篤な目の損傷

呼吸器系の障害

## 注意書

### 【安全対策】

1. 全ての安全注意を読み理解し安全対策を施してから取り扱う。
2. 絶対に口に入れない。
3. 作業場所には局所排気装置を設ける。
4. 防毒マスク、保護衣、長靴及び保護手袋や保護めがね等を着用する。
5. 火気取扱い場所での使用は避ける。
6. 屋外又は換気の良い区域でのみ使用する。
7. 蒸気またはミストを吸入しない。
8. 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行う。
9. 環境への放出を避ける。

### 【救急措置】

1. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
速やかに医師の診断を受ける。
2. 飲み込んだ場合：直ちに口をすすぐ。無理に吐かせない。速やかに医師の診断を受ける。
3. 目に入った場合：直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。速やかに医師の診断を受ける。
4. 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類や靴を脱がせ、付着または接触部を大量の水で十分に洗い流す。速やかに医師の診断を受ける。

### 【保管】

1. 使用後は容器の開口部の蓋をよく締め、所定の場所を定めて冷暗所に貯蔵する。
2. 酸性物質との接触は絶対に避ける。
3. 耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管する。

### 【廃棄】

内容物や容器は国際、国、都道府県、市町村規則に従って廃棄する。

## 3 組成、成分情報（危険有害物質を対象） 単一化合物／混合物：混合物

| 物質名     | CAS NO.   | 濃度  | 備考  |
|---------|-----------|-----|-----|
| 水酸化カリウム | 1310-58-3 | 35% | 安衛法 |

P R T R法：該当しない

労働安全衛生法：該当

| 該当項目                                                    | 物質名     | CAS NO.   | 濃度     |
|---------------------------------------------------------|---------|-----------|--------|
| 水酸化カリウム（法 57 条の 2 施行令 18 条の 2 別表 9 の 315）を含有する製剤（同 632） | 水酸化カリウム | 1310-58-3 | 30～40% |

毒物及び劇物取締法：該当（劇物）

| 該当項目                         | 物質名     | CAS NO.   | 濃度  |
|------------------------------|---------|-----------|-----|
| 水酸化カリウムを含有する製剤（指定令第 2 条の 65） | 水酸化カリウム | 1310-58-3 | 35% |

## 4 応急措置

目に入った場合：

- 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
- 速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- 直ちに汚染された衣類や靴を脱がせ、付着または接触部を大量の水で十分に洗い流す。
- 速やかに医師の診断を受ける。

吸入した場合：

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- 速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

- 直ちに口をすすぐ。無理に吐かせない。
- 速やかに医師の診断を受ける。

## 5 火災時の措置（本品は不燃性）

消火方法：

- 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
- 速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には、遮蔽物の活用等容器の破損に対する保護措置を講じ、容器および周辺に散水して冷却する。この場合、容器に水が入らないよう注意する。

## 6 漏出時の措置

- 風下の人を非難、漏出した場所の周辺には人の立ち入りを禁止する。
- 風下で作業せず、作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 漏えいは、石こう、木栓等で止め、乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- 付着物、廃棄物等は関係法令にもとづいて処置をする。
- 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 回収後の漏洩場所は、霧状の水を多量にかけ、ある程度希釈した後、消石灰等の水溶液で処理し、多量の水を用いて洗い流す。直接中和剤を散布せず、ある程度希釈してから中和する。また、濃厚な廃液が河川などに排出されないよう注意する。

## 7 取扱、保管上の注意

取扱上の注意：

- 換気の良い場所で取り扱う。
- 蒸気ガスを吸入しないよう、また皮膚、粘膜、または着衣に触れたり目に入らないように適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 有機物、酸、アルカリおよび木、紙、布等の可燃物との接触を避ける。
- 取り扱い後は手、顔等を良く洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- 容器は転倒、転落しないように注意して取り扱う。

- 取り扱い後は手、顔等を良く洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

#### 保管上の注意：

- 日光の直射、氷点下、高温を避け、火気、熱源から遠避け、通風の良いところに保管する。
- 容器は確実に密栓して、所定の場所に保管する。
- 食品もしくは食器類と一緒に置かない。
- 転倒、転落しないように注意する。
- 盗難防止のために施錠保管する。

## 8 暴露防止措置

#### 設備対策：

- 装置は耐腐食性のある材質を用いて作る。
- 作業者が直接触れたり、暴露されない設備にするか、局所排気装置等により、作業者が蒸気ガスなどの暴露から避けられるような設備にする。作業場所には便利なところにシャワーおよび洗顔設備をおく。

#### 保護具：

- 目保護具
  - ・ ゴーグルまたは顔面シールドを着用する。
- 皮膚保護具
  - ・ 顔面シールド、頭巾、保護衣、耐化学薬品性のゴム性保護手袋、保護長靴、保護衣を着用する。
- 呼吸保護具
  - ・ ガス用防毒マスクを着用する。
  - ・ 密閉された場所では送気マスクを着用する。

## 9 製品の物理／化学的性質

- 状態： 液体
- 色： 薄褐色透明～褐色透明
- 臭気： 刺激臭
- 比重： 1.38
- pH値： 12.5～13.5
- その他： 水に溶解し、発熱する。

## 10 安定性および反応性

#### 安定性

常温・常圧では安定である。

マグネシウム、アルミニウム、亜鉛等の金属との接触により、爆発性のある水素ガスが発生する恐れがある。

#### 危険有害反応可能性

酸と反応し、急激に発熱する恐れがある。

ほとんどの金属及びガラスを腐食し、引火爆発性のガス（水素ガス）を発生する。

#### 避けるべき条件

熱

#### 混接危険物質

酸類、金属

#### 危険有害な分解生成物

分解により、一酸化炭素、二酸化炭素が生じる恐れがある

## 1 1 有害性情報（組成物質の有害性および暴露濃度基準）

|                   |                                        |
|-------------------|----------------------------------------|
| 急性毒性（経口）          | LD50：273mg/kg（ラット）（苛性カリとして）<br>飲み込むと有害 |
| 皮膚腐食性・刺激性         | 重篤な皮膚の薬傷・目の損傷                          |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性    | 重篤な眼の損傷<br>眼を刺激し炎症を起こす。失明することがある。      |
| 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） | 呼吸器系の障害                                |

## 1 2 環境影響情報

|           |       |
|-----------|-------|
| 水性環境急性有害性 | データなし |
| 水性環境慢性有害性 | データなし |

## 1 3 廃棄上の注意

- 水を加えて希薄な液とし、希酸（希塩酸、希硫酸など）で中和させた後、多量の水で希釈して処理する。
- 薬剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。
- 容器、機器装置等を洗浄した排水は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」および関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

## 1 4 輸送上の注意

- 共通： 取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従う。
- 陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められ運送方法に従う。
- 海上輸送： 船舶安全法に定めるところに従う。
- 航空輸送： 航空法に定めるところに従う。

## 1 5 主な適用法令

- 労働安全衛生法 水酸化カリウム（法 57 条の 2 施行令 18 条の 2 別表 9 の 315）を含有する製剤（同 632）
- 毒物劇物取締法 水酸化カリウム（法 2 条別表第 2 の 53）を含有する製剤（指定令第 1 条の 65）

## 1 6 その他

### 引用文献：

- 日本塗料工業会編集「MSDS用物質データベース」
- 日本塗料工業会編集「MSDS作成ガイドブック」
- 13700の化学商品
- 毒物劇物取扱の手引き
- 危険防災救急便覧
- ACGIH： THRESHOLD LIMIT VALUES FOR CHEMICAL SUBSTANCES AND PHYSICAL AGENTS

**注意：** 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱には十分注意してください。この製品安全データシートは現時点で正確なものと考えられる資料、データに基いて作成しておりますが危険、有害性の評価は必ずしも完全なものでなく、正確確実性を保証することは出来ません。必要な安全な取扱を決定する場合は、使用者がその責任において関係法令およびこの情報を参考にしていただき内容は法令の改正および新しい知見に基き改定されることがありますので最新の情報の元に従って安全にご使用下さいますようお願い申し上げます。またここに記載された情報は保証するものではありません。